

なっていると暴露しました。

西山議員は「ここで痴呆症老人家庭に介護激励金が支給されていないことについて、早急に実施するよう強く要求しました。」

### 民間活力導入による 大企業奉仕の予算

西山議員は「予算案の審査のさい「財源の重点的、効率的配分」の名のもとに民間活力導入による大企業奉仕の予算である特徴づけなども決算で明らかになったと指摘し、たとえば西武・阪急を中核としてすすめられる丹後リゾート構想が、消防、水道、廃棄物処理など地方自治体に押しつけられる経費をならす予測していないことが暴露された」と述べました。

同時にこのような環境破壊に反対する運動が広がり、住民不在の強引な決定にたいする反発もあって、学研都市建設に関連した用地買収も進捗せず、予算の未消化、国庫補助金の返済などの事態になつていっていると指摘しました。

事が全国、世界の人たちの京都にたいする憧れを揺るがして、決断すれば少しは救われると述べました。

### 不公正で反民主主義 的な決算

西山議員は「予算案の審査のさい、最高裁で有罪判決をつけた丸尾に糾弾権を正当化させる議案の機会を与えていること、さらに天皇の私的宗教行事である新嘗祭の献殿にあたって憲法違反の公費負担をおこなっていること、木津川流域下水道建設工事での野中代議士の府政介入などの事実をあげ、不公正で反民主主義的な予算の特徴も決算審議でますます明らかになったと指摘しました。」

西山議員は十二月定例会に付託された議案のうち「生涯学習審議会設置条例案」と「与謝の海養護学校改築契約案件」に反対する理由を述べ、さらに「補正予算案のうち、「生涯学習審議会設置費」「ふるさと市町村推進事業費」「企業誘致対策予算補助金の一部」については反対であるとし、職員給与支給の期末手当に「役職段階別傾斜支給」の加算制度を導入していることにも反対の立場を明らかにしました。

議員団は一月十四日、関西電力に対し、高浜2号機の運転再開について、次の申し入れを行いました。申し入れは西山、太田尚府議、高橋昭三前府議、こくた恵二衆院一区候補、西山とき子参院選挙区候補が参加し、関西電力支社に文書を提出しました。

## 高浜2号機の運転再開は、安全性確保を求める 京都府民に対する重大な背信行為。運転再開に 抗議し、ただちに運転の休止を求める申し入れ

関西電力株式会社  
社長 森井 清一 殿

日本共産党 京都府委員会  
日本共産党・革新共同京都府議会議員団

貴社の高浜2号機蒸気発生器細管の大損損傷発生は、京都府民に原子炉の安全性に対し重大な疑問と不安を与えています。府民の懸念する声に応え、京都府議会は、昨年十月五日政府に対し「安全確保に万全を期す」ことを求める意見書を全会一致採択しています。また先月、当原子炉が安全性にかかわって京都府議会総務常任委員会が現地視察し、安全性確保の措置、体制について万全を期すことを強く求め、特に

共産党議員は運転再開をしないよう強く求めました。しかるに、今回、貴社は、京都府民はもとより安全性に重大な危惧を抱いている国民が納得の行く根本的安全対策をならす講じないまま、対応療法だけで「施検率にはまだ十分な余裕がある」と営業運転を再開しようとしています。言うまでもなく、蒸気発生器は危険な放射能を原子炉内に閉じ込めて熱交換を行う重要な熱交換器であり、

細管の破断事故はもとより、「施検」の増加による熱交換機能の低下は原子炉の安全に極めて重大な影響をもたらします。運転の再開は、安全性に責任を持つべき貴社の責任を朝上りにする社会への背信行為と断せざるを得ません。

貴社の意見広告（京都新聞、一九九〇年十二月二十九日付）では、「固より安全上問題ないと確認された五〇％」といふのは施検率のことです」と説明

されてはいますが、「安全」であるという技術的根拠は「国」からも電力会社からも全く示されたことはありません。貴社の申請と並び蒸気発生器配管の施工率の上限が一八時から三五％に引き上げることや通産省が許可したこと、現在一七％の施工率に達している高浜2号機の安全性が「心配する」という数値ではありません」との判断には何の合理性がありません。

また、京都府民は蒸気発生器の安全対策を求めているのであって、意見広告にあるような、「経済的」理由で蒸気発生器の取り替えは決して求めていません。日本では前例のない蒸気発生器の取り替えは、建設時には全く予想されていなかった原子炉格納罐に穴を開けることや放射能に汚染された原子蒸気発生器等の保管など、技術的にも極めて難しいものであり、安全性を確保するため極めて慎重な態度で臨むべきです。

さらに、スリーマイルやチェルノブイリの原発事故は、当然、起るべくして発生したものでなく、「チェルノブイリのような大事故になることはありませぬ」といような断言を行なうべきではありません。日本の原発が大事故をまぬがれてきたのは、被爆の

経験を持つ国民の強い監視と批判によるものです。国や貴社などの電力会社が、日本の原発の安全性をことごときで強調されるのは、最も危険なことであると考えます。一方的な根拠のない安全宣言のものと、高浜2号機の運転を再開することについて府民が納得しないのは、むしろ当然のことです。

日本共産党は、米ソで起こったスリーマイル島とチェルノブイリの二つの重大事故の教訓を汲み、政府・電力会社・原子炉メーカーから独立した「安全審査委員会」のことで、安全基準を科学的に信頼できる内容のものに作り直し、新しい基準で点検を行なうことを要求しています。

日本共産党は、貴社が、①事故とその処理に対する安全性監視の体制が社会問題となっていることを深く自覚し、高浜2号機の運転を休止すること、②蒸気発生器の取り替えは、十分な安全性が確保され府民の合意が得られた上で行なうこと、③事故および安全性を確認するための技術情報を全面的に公開することを求めるものです。

以上

# なれあい政治打破、 悪政の防波堤きざりく年に



西山議員

一月十三日放映のKBSテレビ「政治を語る」今年の府政展望には西山秀治議員が出演しました。

## 府民の力で 府政を動かした

まずはじめに西山議員は、昨年を振り返って①知事選挙は六党対一党で正

勝と言われていた現職知事が有権者の四分の一しか支持が得られず、事実上の不信任をつきつけられたこと②その中で知事は、府民が要求してきた「鴨川ダム撤回」「寝たきり老人の介護報酬金支給」などを行わざるを得なかったこと③四府総、京都駅の超高層化など大企業筆士の準備をすすめ、府民との矛盾を深めたことなどを指摘しました。

## 自然・環境・府民 の安全を守る府政に

続いて今年の抱負に関し、イラン問題の平和的解決をめざして自衛隊の海外派兵を許さないために全力をこつこつと、コソボの自由化や大型店の野放しに反対し、悪政の防波堤となる府政を築く決意を表明。さらにゴルフ場建設を野放しにし、学研都市、リゾート開発推進で自然・生活環境の破壊を放置している府政を批判するとともに、輸

入食品の汚染の問題や高浜原発の危険から府民の安全を守ることに、国保料(税)の引き下げなどを重大争点として提起しました。

議会定数は正については、増えつつける行政需要に因應するために、地方自治法に定められた総数にするとしても人口比例配分で格差も二倍以下となる十増三減を議員団が提案した旨を述べました。

## なれあい政治打破へ 日本共産党の躍進を

西山議員は、川西市などに典型的に表われている地方でのなれあい政治を打破するためにも、唯一の野党である日本共産党の躍進が重要であることを訴え、四月の府会議員選挙で日本共産党は現職区と前回失ったことでの絶対確保、さらに新たな議席を拡大する決意を表明しました。

KBS京都  
政治を語る